

40101鉄道・軌道業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物 (小)	労働者規模
1	2019	1	8 9	駅改札付近で迷惑行為をしていたと思われる人物を確保し、警察官に引き渡そうとしていた際、当該人物が警察官の姿を見て逃走を図った。そのため、追いかけてホームに下る階段を急いで下りようとした際、腕を掴んでいた被害者は引きずられ転げ落ち、ホーム上に転倒し、右膝脛骨後十字靭帯性裂離骨折した。	55	1	413	100 ～ 299
2	2019	1	5 6	回送電車の便乗に向かう途中、車庫内通路を歩いていたとき、通路の木枠が凍っていたので滑りそうになり、踏ん張ったが転倒して右足と左手首を負傷した。	56	2	417	100 ～ 299
3	2019	1	9 10	電車の全般点検中に、電車内でリード線の結線作業を行おうと前かがみになったところ、負傷し腰椎椎間板ヘルニアとなった。	27	19	921	30～ 49
4	2019	1	1 2	電車線張り替え作業時、上り線の軌道上を横断しようとした際、踏み込んだ右足が川側レールにつまずき転倒し、受け身を取ったときに山側レールで右手を強打し、右橈骨遠位端を折った。	52	2	419	100 ～ 299
5	2019	1	22 23	駅のホーム上の点字ブロック内側を歩行していたところ、降り積もった雪に左足を滑らせて転倒、その際、踏ん張って耐えようとした右足首に激しい痛みを感じ、右足関節外果骨折した。	62	2	416	100 ～ 299
6	2019	1	2 3	新幹線の車両所で、工事の立ち会い中、地面から高さ45cmの基礎部より更に25cm高い配電盤基礎部へ右足を乗せようとした際、右足を踏み外して足首を捻転した状態で着地し、骨折した。	25	2	419	10～ 29
			8	リフト山頂降り場監視小屋に右足から入ったところ、前日からの				50～

7	2019	1	9	雪が小屋に入っており、床で滑り尻もちをつく状態となり、左足に体重が掛かり、左足関節外果骨折した。	64	2	417	99
8	2019	1	16	リフトを最終巡回中、強風によるホワイトアウト現象にあい、スノーボード上でバランスを崩し転倒し、右肩を強打した。その後、右鎖骨骨折と診断された。	53	2	719	100 ～ 299
9	2019	1	10	スキー場山頂の待機小屋にて監視業務のため、階段を下りて小屋に入ろうとしたが、足を滑らせて右側へ転倒しそうになり踏ん張った結果、右足に負荷が掛かり、右膝前十字靭帯断裂を負った。	53	19	413	10～ 29
10	2019	1	15	駅長事務室内で執務中、椅子から立ち上がり右足から3歩歩いたところで右足首を内側へひねり骨折した。なお、発生箇所に陥没や段差等、転倒につながるような危険な状況はなかった。	44	19	921	10～ 29
11	2019	1	14	電車走行中、駅到着による状態監視のため乗務員室運転台内の高床部より低床部に降りる際、足を踏み外し乗務員室扉（電車左側面）のストッパーに足が引っ掛かり、右足首をひねり受傷した。	25	19	419	100 ～ 299
12	2019	1	9	ビルのエレベーターにて、社員の退社式に使用する花束を購入するため花屋へ向かう途中、エレベーターの床が雨により濡れていたため転倒し、右足を捻挫した。	30	2	416	30～ 49
13	2019	1	7	ファミリー出札の準備中、出札所（チケット売り場）の前を除雪を済ませ、出札所内へ移動中、滑って転倒し、右手をつき右手首を骨折した。	70	2	417	50～ 99
14	2019	2	11	下り運転詰所内の食堂で、床が濡れていたためモップで拭いていたところ、左足が後方に滑り転倒した。その際、左膝を床に強打し、膝蓋骨を折った。	31	2	417	30～ 49
15	2019	2	11	山頂駅の踊り場で、交換用のワイヤがドラムで到着したときに、50cm位横に移動しようとして1人でドラムの中心を両手で持ち、力を入れようとしたときに腰がゴキツとなり痛みが走り腰骨を折った。	48	19	611	30～ 49

				た。				
16	2019	2	14 ～ 15	当該社員は駅の2番乗り場から発車後、列車状態注意中に業務を終了した運転士に挨拶をするため、乗務員室落とし窓から腕を出してホーム柵に接触し、右肘を骨折した。	31	3	418	100 ～ 299
17	2019	2	11 ～ 12	要救助者を救助後に担架に乗せ、ゲレンデ内をスキーで搬送中に急斜面で左足に大きな負荷が掛かり、左膝を負傷した。	54	2	719	50～ 99
18	2019	2	15 ～ 16	駅構内にて、列車運転の途中、休憩に向かうため歩行中、くぼみに足を取られ、転倒した。その際、右足をひねり、右足小指を骨折した。	43	19	417	100 ～ 299
19	2019	2	20 ～ 21	駅構内東引き上げ2番線への入れ替え作業終了後、転動防止手配を行い、手乗継詰所に向かうため運転室から降車するため、両手で手すりを持ち、右足をステップ上段に、左足をステップ下段に置いた状態からバラスト部分に飛び降りた。着地した際に左足首をひねり負傷した。	36	19	232	100 ～ 299
20	2019	2	7 ～ 8	電車便乗にて駅到着後、室内の窓が開いていることに気付き、室内に入り窓を閉め閉める際に、途中で引っ掛かり完全に下まで下がらなかったため、再度上げて勢いをつけて下げたところ、右手中指先端を窓と窓枠に挟み骨折した。	53	7	232	100 ～ 299
21	2019	2	6 ～ 7	駅のホームにて、旅客トラブル対応で、階段を急ぎ駆け上る際、足を踏み外し右ふくらはぎを負傷した。	27	19	413	500 ～ 999
22	2019	3	18 ～ 19	左足第3中足骨の疲労骨折	33	19	921	100 ～ 299
23	2019	3	11 ～	駅事務室内階段を下りる際、手すりを使用せず、左手に外套を持ち降下中、下から4段目付近で立ち眩みがして転倒し、腰を強打し	37	1	413	100 ～

			12	負傷した。				299
24	2019	3	7 ～ 8	駅間を徒歩巡回中に、継ぎ目ボルトが折損し脱落しているのを発見し、その場で補修を行った。その際、継ぎ目ボルトを曲げることで対応しようと、レール上に置き、大ハンマーで打ち付けたところ、ボルトが跳ねあがり、右目上の顔に衝突し負傷した。	54	4	364	50～ 99
25	2019	3	7 ～ 8	常務のため乗務所を発車時刻の5分前に出場し、乗務所階段を下りていたところ、出口フロアまで残り3段のところ右足踵が階段の3段目に引っ掛かりバランスを崩して約6cm下のフロアに右足をついた。その際、右足をひねり、階段の1段目の段鼻に右足脛の外側を強打し骨折した。	49	19	413	100 ～ 299
26	2019	4	9 ～ 10	車椅子用の渡り板を準備するため、駅務室脇の物置を開けたところ、板が倒れかかり足にぶつかり骨折した。	66	5	379	100 ～ 299
27	2019	4	10 ～ 11	ホーム立哨を終えて下りエスカレーターで降下中、突然観光客のキャリーバッグがエスカレーター上部より落ちてきて、腰部辺りに大きな衝撃を受け、降下口付近で転倒し、右第3、4、5中足骨を折り、腰部打撲を負った。	53	6	611	100 ～ 299
28	2019	4	15 ～ 16	職場に出勤するため階段を上っているときに、雨上がりで床が濡れていたため、右足が滑って左足が着地するときに左足首を捻挫した。	39	3	413	100 ～ 299
29	2019	4	21 ～ 22	被災者は1人で駅の窓口対応と案内放送を行っていた。電車が遅れていたため、しゃがんだ状態でスチール棚の下段にある装置を使用し放送していた。そのとき、お客様対応に向かうため右足を一歩前に踏み出した際、目の前のスチール棚下部につま先を強打し、右母趾を骨折した。	32	3	379	100 ～ 299
30	2019	4	6 ～	地下鉄駅軌道内で、ホームから転落した旅客の救出作業していた。同僚と旅客を乗せた担架を持って、軌道内を後ろ向きで移動していた。その際、誤って軌道の段差に足を取られ、勢いよく臀	62	2	417	100 ～

			7	部から軌道上に転倒し、腰部を骨折、背部を負傷した。				299
31	2019	4	9 ～ 10	貨車入れ替え作業中、最前部より5両目付近でエキスパンドメタルのつなぎ目に躓き、前のめりに転倒し、両手をエキスパンドメタルの上につき、両手を負傷した。	23	2	417	50～ 99
32	2019	4	13 ～ 14	列車乗務中、発車後、車内巡回歩行中、列車の振動でバランスを崩し、左膝に全体重がかかり、負傷した。	34	19	232	100 ～ 299
33	2019	5	7 ～ 8	新幹線の車内を巡回中、連結部付近で乗客とすれ違う際に避けたところ、車両が揺れて倒れそうになった。その際、手すりに左脇腹を強打して肋骨を折った。	30	3	391	100 ～ 299
34	2019	5	14 ～ 15	洗車場での洗車を終え、足場を移動中に、高さ130cmから転落し、右前腕、右肋骨を折った。	46	1	417	100 ～ 299
35	2019	5	10 ～ 11	モップで床を清掃中、床が濡れているため、滑ってバランスを崩して転倒し、右手首を骨折した。	64	2	417	50～ 99
36	2019	5	10 ～ 11	車両センター入区作業中、乗務員室ドアを閉める際に左手小指を挟み骨折した。	30	7	232	300 ～ 499
37	2019	5	7 ～ 8	列車のドアを閉めた後、出発合図を送る前に運転士が起動開始したため、危険と判断し、非常停止手配（非常停止スイッチ扱い）を行った際、乗務員室のドアが急に閉まり、右上腕部を打撲した。	28	7	232	100 ～ 299
38	2019	5	21 ～ 22	列車が駅に到着後、被災者である車掌が折り返し作業をしているとき、加害者に携帯電話で動画撮影をされたため声を掛けたところ逃げたため追いかけた。そのとき、改札口で制止したが振りほどかれて転倒し、左掌に擦り傷、左足の付け根に損傷を負った。	38	2	999	100 ～ 299

47	2019	7	12 ～ 13	退社時に階段を下りる際、左足を踏み外し転倒し左足首を捻挫した。	26	1	413	100 ～ 299
48	2019	7	13 ～ 14	新幹線電車の定期検査（交番検査）開始に備えて、検修員詰め所から約20m離れたところにある作業現場にピットを潜り歩行して向かった。現場到着後、作業準備を行い検査開始を待機していたところ、左足首付近に痛みを感じ左足関節三角靭帯損傷を負った。	25	19	921	50～ 99
49	2019	7	15 ～ 16	野球場にて、試合形式の野球の練習中（紅白戦）に、打席内で自打球が左目を直撃し、病院で、左目眼球破裂と眼窩底骨折が確認された。	22	3	529	1000 ～ 9999
50	2019	7	21 ～ 22	駅事務室内で暴れ回る泥酔のお客様に対応中、他の係員が襲われたので、救助しようと二人の体に割って入った。その際、左腕を鷲掴みされ、体を振り回されたため、腕と頸椎を負傷した。	27	90	911	100 ～ 299
51	2019	7	21 ～ 22	駅事務室内で暴れ回る泥酔のお客様に他の係員が対応中、係員専用室のドアに背中を向けて閉めた直後、いきなり背後から襲われた。その際、両腕で両肘を締め上げられ、右母指をひねり上げられて負傷した。	50	90	911	100 ～ 299
52	2019	7	15 ～ 16	業務用自動車で事務センターに向かう途中、東向き一方通行の交差点で赤信号のため停車していたところ、後部から追突された。その際、衝撃により、頸椎を捻挫し、背中、腰部、両膝に挫傷を負った。	49	17	231	50～ 99
53	2019	8	8 ～ 9	駅到着後、折り返すために引き込み線に入り、停止位置で停車するところ、意識を失い停止位置を大幅に超え前方壁面に衝突した。その際、両膝蓋部に打撲、擦過傷を負った。	42	3	232	100 ～ 299
54	2019	8	14 ～ 15	車庫の状態機能検査線で、3両編成の状態機能検査中、手の痺れ、吐き気、めまいの体調不良となり、めまい症を発症した。	20	99	921	50～ 99

55	2019	8	14 ～ 15	列車に乗務中、駅進入時の状態注意中、風に巻き上げられた埃が左目に入り、負傷した。	32	90	911	100 ～ 299
56	2019	9	8 ～ 9	地下鉄駅で、窓口業務からホーム監視業務へ移るため、階段を下りてホームに向かう途中に足を踏み外した。その際、左足をひねって着地し、左足首を骨折した。	24	1	413	100 ～ 299
57	2019	9	9 ～ 10	発車前の改札検印業務の後、忘れ物の確認のために待合室を点検中、長椅子の上の座布団の位置を整えているときに、後ろから左足脛を蹴られたような感覚があり、アキレス腱に激痛が走り左アキレス腱断裂を負った。	55	19	921	10～ 29
58	2019	9	19 ～ 20	列車乗務中、乗客から暴言やパンフレットを投げつけられるなどの迷惑行為があり、過呼吸となり、手が硬直し立ち上がれなくなった。	22	90	911	100 ～ 299
59	2019	9	1 ～ 2	回送電車を車両センターに留置し、運転席より降車した。その際、乗務員室を背にしてドアを閉めたため、左手薬指をドアに挟み負傷した。	37	7	232	300 ～ 499
60	2019	9	16 ～ 17	駅に到着後、トイレに行くため乗務員宿泊所へ向かう途中、階段を下りる際、足を踏み外し、両足首をひねり負傷し、右足アキレス腱に挫傷を負った。	39	19	416	100 ～ 299
61	2019	10	18 ～ 19	始業点呼が終了し、休憩所で同僚の隣に座ろうと移動したとき、テーブルの脚につまずいて転倒し、右足を骨折した。	49	2	419	100 ～ 299
62	2019	10	9 ～ 10	検査中の地下鉄車内へ、接続されたエアホースを車外の下から引っ張って引き上げようとした。その際に、ホースの接続部が外れ、ホース先端部分が跳ね上がって右目と右頬に勢いよく当たり、右目を負傷した。	34	6	379	50～ 99
			15	列車の運行が終わり、列車から横歩きの状態でホームに降りよう				100

63	2019	10	16	としたとき、乗務員扉に右手が引っ掛かった。その際に乗務員扉が閉まり、右手中指をドアに挟み負傷した。	34	7	232	～ 299
64	2019	10	0 1	車両基地構内を歩行中、側溝の蓋に踏み出したところ、蓋がずれ、蓋と一緒に右足が落ち捻挫した。	34	19	417	30～ 49
65	2019	10	10 11	列車運転台にて添乗中、1両目で車内迷惑行為を行う旅客対応のため、車内に入り迷惑行為を制止しようとした。その際、駅で閉扉直後、加害者に突然胸元を掴まれ投げ飛ばされたため、頸部を捻挫し、右上腕部と右大腿部を打撲した。	43	90	921	300 ～ 499
66	2019	10	8 9	事務所休憩室にて、着替え中、置いてある長椅子の足に左足の小指をぶつけ、打撲、骨折した。	37	3	379	500 ～ 999
67	2019	11	14 15	被災者が列車担当中、異音を検知したので列車を停止させた後、車両点検に赴こうと乗務員専用扉から線路上に降りたとき、足下が急勾配であったためバランスを崩して転倒し、左上腕骨近位端を折った。	53	2	417	300 ～ 499
68	2019	11	9 10	駅構内でカンテラを設置する際、列車見張り員から退避合図があったので退避しようとしたところ、電気ポイントの転てつ棒に右足を挟んで負傷した。	64	7	512	50～ 99
69	2019	11	17 18	列車ドア閉扉操作後、全扉の閉扉状態をモニターで確認し、乗務員室へ乗り込む際、誤ってホームに転落し左肘、左手小指を骨折した。	45	1	419	100 ～ 299
70	2019	11	11 12	ゴンドラ線下脇の伐木作業時に伐木した木を手持ちにて運搬中、足を滑らせ転倒し右手首を負傷した。	51	2	711	100 ～ 299
71	2019	11	9	スキー場リフト山頂降り場付近で作業中、置いてあった丸太で滑って右足をひねり負傷した。	66	19	522	50～ 99

			10						
72	2019	11	6 ～ 7	駅ホーム上にて、除雪作業中、ホーム上が凍結し、降雪により滑りやすい状況となり、足が滑り、転倒しそうになり、左足で支えた際、左足船状骨を骨折した。	34	19	719	1～9	
73	2019	11	12 ～ 13	駅構内の設備調査作業中、線路脇ガードレールを線路側から道路側へ乗り越え、右足から着地した際、右脛骨を折った。	56	19	921	10～ 29	
74	2019	12	15 ～ 16	駅ホームで、乗客の忘れ物を探すため、車両後部運転台から乗車した。忘れ物を発見して後部運転台に到着したとき、回送列車が起動し始めたので、とっさにMC扉から降車しようとした。その際、右足をホームについたときにバランスを崩し、背中からホームに転倒して後頭部を強打し、外傷性クモ膜下出血を起こした。	56	2	921	100 ～ 299	
75	2019	12	16 ～ 17	担当列車の業務を終えて帰る途中、通路を歩行中に凸凹部分につまずき、右脹脛を負傷した。	63	19	417	100 ～ 299	
76	2019	12	11 ～ 12	確認作業のため柵を乗り越えて侵入し、確認終了後、侵入した柵を乗り越えるため、一旦柵の上に立ち上がり、隣接フェンスの穴につま先を入れ、降りようとした。その際、穴からつま先が抜け、右足踵をコンクリート地面で打ち、骨折した。	46	1	419	30～ 49	
77	2019	12	21 ～ 22	駅でホーム壁に貼付してあるポスターを剥がす作業をしていた。その際、高さ40cmの台を使い右足を乗せたところ、バランスを崩し左側に傾き転倒して、左上腕を骨折した。	54	1	371	50～ 99	
78	2019	12	9 ～ 10	被災者が通路に飛び出していた衣装ケースに左足をぶつけた後、その衣装ケースを左足で強く押し込んだ。その行為が蹴り飛ばしたように見えた同僚1に、強い口調で注意をされた被災者が声を荒げ、同僚1の前日の業務を否定した。これを聞いて、自分が企画した業務を否定されたことに対し頭に血が上った同僚2に、胸倉を掴まれ、頸部咽頭部を負傷した。	33	90	921	500 ～ 999	

79	2019	12	10 ～ 11	住宅型有料老人ホームで開催される年末餅つきイベントに助勢として参加していた。餅をついていたところ、誤って足を滑らせ、臼近くに置いてあった餅こね用の湯が入っている容器上に転倒し、容器内の熱湯が左半身にかかり、左首、左肩、左腕を火傷した。	31	2	416	50～ 99
----	------	----	---------------	---	----	---	-----	-----------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。